

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育原理	講義	2	齋藤 尚志
<p>【授業のテーマ及び到達目標】</p> <p>教育の基本的概念、教育の理念・歴史・思想について学び、これまで教育および学校の営みが子ども・家庭・地域にどのようにとられ、それらとの関係がどのような変遷をたどってきたかを理解する。</p> <p>①教育の研究や実践にとって不可欠だと考えられる基礎的・基本的な概念を修得する。</p> <p>②一人一人の子どもの成長の姿や、成長の過程にはたらきかける人間的、社会的諸環境について理解する。</p> <p>③教育や学習の当事者、当事者間の問題をそれらを取り巻く諸環境との関わりの中で了解する。</p> <p>④教育がどのような営みなのかを自覚する。</p>			
<p>【授業の概要】</p> <p>教育とは、学習とは、いったいどのような営みなのでしょう。この授業では、教育の本質や目的などについて、基本的な知識や概念を学んでいきます。まず、教育の研究や実践にとって不可欠だと考えられる概念や議論を、できるだけ分かりやすく紹介・解説します。次に、事例をもとに、子どもの成長、おとなー子ども関係（教師ー子ども関係）などについて考えていくことによって、教育や学習という営みを全体として了解することを目指します。また授業はレジュメを用いながら、各回のテーマを中心に講義を行うとともに、必要に応じて映像を用いる。なお、講義内容や進度は、受講生の理解度や授業態度・姿勢に応じ変更することがある。</p>			
<p>【全体の授業計画・内容】</p>			
1. オリエンテーション			
2. 人間存在・遊び・学びと教育			
3. 教育の必要性と可能性			
4. 目的行為としての教育 ー教育の抑圧性ー			
5. 歴史のなかの教育目的			
6. 教育内容の選択と組織化 ー制度としての教育ー			
7. カリキュラムの類型			
8. 学習指導要領の変遷			
9. 教育評価について			
10. 教育にできること／できないこと ー教育の限界ー			
11. さまざまな教育論と実践(1) ーデューイなどの自由教育論ー			
12. さまざまな教育論と実践(2) ーイリイチなどの脱学校化論ー			
13. 教育問題を考えるヒント(1) ー能力と共同性ー			
14. 教育問題を考えるヒント(2) ー子どもの育ちと地域ー			
15. まとめ			
<p>【準備学習の内容】</p> <p>予習のあり方: ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心を示し、幅広く情報を得ておくこと。児童館や子育て支援サークルなどの保育ボランティアなどたくさんの経験を積極的に積むこと。教育や子どものことなどについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本をなるべく多く読むこと。</p> <p>学習のあり方: 教育者・保育者は子どもの育ちに責任があるということ、教育者・保育者である自分の言動が子どもに対し善悪交々の多大なる影響を与えること、を自覚すること。その上で、子ども自身が育</p>			

っていくことに自分がどのように関わっていくことができるのかを想定しながら、授業やグループワークに参加してください。

復習のあり方: 授業内容についての疑問点を整理し、ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解いてみる。疑問や質問は授業中でも授業後でも必ずその時に解決する習慣をつけましょう。

【成績評価】

課題提出などを含む授業への参加度合(20%)、試験(80%)をもとに総合的に評価する。すべて出席するのが原則です。遅刻・欠席は「参加度合」として不適切と判断します。健康管理や早めの行動を心がけてください。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

【テキスト】

レジュメおよび資料を配布する。

【参考文献】

授業中に適宜指示する。